

コーディネーター—橋大学 神岡太郎教授

DXゼミナール in 札幌 Vol.4

DXをとことん理解するための連続講義

STARTUP CITY

北海道のスタートアップ企業たちの挑戦

あいさつ：神岡実行委員長

事例報告 1

北海道大学 大学院工学研究院 准教授 坪内 直人 氏

鮮度見える化システムを活用した水産業における
デジタルトランスフォーメーションの可能性

株式会社 enCEO 涌田 雄基 氏

DX を扱う大学発スタートアップが社会に貢献できること

北海道大学 大学院情報科学研究院 教授 竹井邦晴 氏

予兆から見つける未病・異常の早期発見センサーシートの開発

モデレーター：中外製薬株式会社 志済 聡子 氏

上席執行役員

デジタルトランスフォーメーションユニット長

事例報告 2

北大発「エッジ AI ソリューション」スタートアップ AWL の挑戦！

AWL 株式会社 CHRO 兼 上席執行役員 土田 美那 氏

モデレーター：味の素株式会社 香田 隆之 氏

最高デジタル責任者 (CDO)

休憩

パネルディスカッション

テーマ

「札幌のスタートアップをどう育成していくのか」

株式会社 JAL カード代表取締役社長 西畑 智博 氏

北海道大学 産学・地域協同推進機構

スタートアップ創出本部副本部長 小野 裕之 氏

株式会社 D2Garage 佐々木 智也 氏

モデレーター：一般財団法人さっぽろ産業振興財団

Sapporo Business VILLAGEリード IM 佐々木 身智子

この街にはチャンスがある
チャレンジする文化がある
ここからきっと世界が驚く
イノベーションが生まれるはず…
DXゼミナール in 札幌の第4回目は
今、正に札幌に生まれ、未来を目指す
スタートアップ企業にフォーカスし
先端企業の変革者である
CDOの皆さんと
熱心な議論を展開していきます
会場からも積極的に議論にご参加ください

●開催方法：来場型とオンライン型を
組み合わせたハイブリット形式

●受講方法：受講ご希望の方は
さっぽろイノベーションラボのホーム
ページからお申し込みください。

<https://sapporo-innovation-lab.jp>

(参加無料)

7/14 13:30~16:45 金



札幌コンベンションセンター・小ホール(定員180名)

主催 Sapporo DX WEEK 実行委員会

後援 札幌市

協力

Sapporo DX Initiative

さっぽろイノベーションラボ

DXゼミナール in 札幌 vol.4

講師の皆様



**一橋大学 経営管理研究科教授
神岡 太郎 (かみおか・たろう) 氏**
1990年北海道大学大学院博士課程(行動科学専攻)単位取得退学、1990年一橋大学商学部専任講師、2004年より商学研究科教授を経て現職。2007-2008年役員補佐を兼務。学外では2010年より政府情報システム改革検討委員会委員(総務省)等も務める。



**中外製薬株式会社 上席執行役員デジタルトランスフォーメーション統括デジタルトランスフォーメーションユニット長
志済 聡子 (しさい・さとこ) 氏**
北海道大学法学部卒業。1986年日本アイ・ビー・エム株式会社入社。IBM Corporation (NY) に出向後、2009年に執行役員として公共事業部長、セキュリティ事業本部長、公共事業部長を歴任。2019年5月中外製薬株式会社に入社。執行役員IT統轄部門長、執行役員デジタルトランスフォーメーションユニット長を歴任後、2022年4月より現職。パナソニックコネクタ株式会社 社外取締役、北海道大学新渡戸カレッジフェロー、内閣サイバーセキュリティ戦略本部専門調査会委員。



**北海道大学大学院工学研究院准教授
坪内 直人 (つぼうち・なおと) 氏**
2001年03月 東北大学 大学院工学研究科 応用化学専攻、2011年04月 北海道大学大学院工学研究院 准教授。産業技術総合研究所と共同で、致死後の魚介類の任意部位における分解成分の濃度の経時変化をシミュレーションにより求め、鮮度と食べ頃を評価するための『見える化』装置を開発。水産動物の鮮度と食べ頃の『可視化』に挑戦している。



株式会社 en CEO 湧田 雄基 (わくだ・ゆうき) 氏
博士(工学)(名古屋大学)、2008-2018年 東京大学 特任助教、2018-2023年 北海道大学 特任准教授、2023- 東北大学 特任教授。IoTやインフラマネジメントに関するデータサイエンス研究・教育に従事。2022年度に北大発認定スタートアップとして株式会社 en を創業。データサイエンス・DXに関する研究開発や人材育成に取り組む。



**北海道大学大学院情報科学研究科教授
竹井 邦晴 (たけい・くにはる) 氏**
2009年 国立豊橋技術科学大学大学院 電子情報工学専攻 博士修了、2009年-2013年 アメリカカリフォルニア大学バークレー校 博士研究員、2013年-2017年 大阪府立大学 電子物理工学課程 テニュアトラック 助教、2017年-2019年 大阪府立大学 電子物理工学課程 准教授、2019年4月-2022年3月 大阪府立大学 電子物理工学課程 教授、2022年4月-2023年3月 大阪公立大学 電子物理工学専攻 教授、2023年4月-現在 北海道大学 大学院情報科学研究科 情報エレクトロニクス部門 教授



**味の素株式会社 執行役専務
香田 隆之 (こうだ・たかゆき) 氏**
東京工業大学大学院総合理工学研究科修士修了(1989)。同年、味の素株式会社入社。アミノ酸など発酵技術を用いた素材製造を中心に技術畑を経験。タイ味の素社アミノ酸工場長、北米技術センター長、アメリカ味の素社上席副社長、生産統括センター長を経て、2015年執行役員生産戦略部長。日本国内食品生産拠点の統廃合や工場の生産自動化を推進。2019年常務執行役員としてSCM改革担当としてDXに参画。2021年執行役常務COO兼DX推進部長、2022年4月より執行役専務COOとしてグループ全体のDXを推進中。



**AWL株式会社 CHRO 兼 上席執行役員
土田 美那 (つちだ・みな) 氏**
北海道大学卒業後、松下電器産業株式会社(現パナソニック(株))に入社。R&D部門、マーケティング部門、デバイス事業における人事領域で、グローバル人事業務・マネジメントに従事。人事基幹システム構築、技術人材スキル管理システム等の全社横断プロジェクトを推進。更に、2013年よりシリコンバレーにて新規事業開発、地域活動に携わる。17年AITOKYOLAB(現AWL)にて人事及び事業オペレーションを牽引し、現在のGLOBAMLカルチャーを築く。



**株式会社 JAL カード 代表取締役社長
西畑 智博 (にしはた・ともひろ) 氏**
1984年東京大学工学部卒業、日本航空株式会社(JAL)入社。1990年代よりJALのeビジネスを推進。2014年より執行役員として旅客基幹システムを刷新するSAKURAプロジェクトを完遂。2019年より常務執行役員デジタルイノベーション本部長としてJALのDX・新規事業創造を推進。IT Japan Award グランプリ2018、IT最優秀賞2019、DX銘柄2021受賞。2022年6月より現職に就任。JALカードは2022年NPS®ベンチマーク調査第1位獲得(NIT コムオンライン・クレジットカード部門)



**北海道大学産学・地域協同推進機構
スタートアップ創出本部 副本部長
小野 裕之 (おの・ひろゆき) 氏**
1990年北海道大学大学院工学研究科修士修了、株式会社リクルート入社。人事・営業を経て新規事業開発担当としてインターネットを活用したサービスの事業化に着手、3年で黒字化達成。その後IT企業を中心に多くの新規事業開発に携わり、また自ら経営者としていくつもの企業運営を行う。2023年6月に北海道大学に戻り、本学の知財を活用したスタートアップ企業の創出を推進している。



**株式会社 D2 Garage 代表取締役 株式会社デジタルガレージ執行役員 オープンネットワークラボ推進部長
佐々木 智也 (ささき・ともや) 氏**
2005年デジタルガレージ入社。デジタルガレージグループ戦略事業に携わる。海外投資先サービスの日本ローカライズや、パートナー企業とのジョイントベンチャー事業等に従事。Twitterとの資本業務提携により日本展開を主導。シードアクセラレータープログラム「Open Network Lab」ではスタート時より参画、現在エンジェルリストとして活動。2018年、D2Garage を設立し代表取締役就任。



**一般財団法人 さっぽろ産業振興財団
Sapporo Business VILLAGE リードIM
佐々木 身智子 (ささき・みちこ) 氏**
大学卒業後、大手メーカーでSEとして勤務した後、フリーのSEとして多くのプロジェクトに参加。「北大ビジネス・スプリング」チーフインキュベーションマネージャーを経て現職。システムアナリスト、ITコーディネータ、北海道フードマイスターなど各分野の知見を以てスタートアップ企業の支援活動を行っている。